

	(特集)	
英	語	の
	語	彙

## 授業に英語の面白みと モチベーションを

クイズ形式によるボキャブラリーの導入



小山内 大

### ■クイズで学ぶボキャブラリー

私は、7年前から理工系大学で一般教養科目として英語を教えています。1コマ90分の中で学生の興味と集中力を失わせない、そしてさらに彼らのモチベーションを引き上げるような授業を行うことに心がけてきました。

個々の教員の方々も日々様々な創意工夫をされていると思いますが、私が授業の中で実践しているひとつが、アメリカに16年滞在した経験から、授業の内容以外の肩肘を張らない生活レベルでの英語表現を、クイズ形式で紹介することです。今回は、この秋に大修館から出版予定の『〈クイズ〉英語生活力検定2』というタイトルの拙著からの抜粋をもとにして、授業での使用の方法をご紹介します。

### ■生活に根ざしたボキャブラリー

クイズで紹介する内容は学生の実生活に直接関係のある分野で、学生の興味に直結したものです。例えば、大学生ならデートの相手をどのように表現するのかとても興味があるはずです。

(例)「わたし **面食い** だからイケメンじゃなくちゃね」

I go for ( ), so my date has to be good looking.

- ① face ② looks ③ mask

正答は②です。3つの選択肢の中から正解を選ぶ問題ですが、平均的な学生の英語の知識ではどれを選ぶべきか迷う問題です。そして解答を知れば「オモシロい！」と自然に思うはずです。

(例)「今の彼 **ふっちやつた**、もともとタイプじゃなかったのよねえ」

I ( ) him. He was not my type from the beginning.

- ① threw ② dumped ③ rejected

正答は②です。dumpは「ドサッと捨てる」という意味で、学生達にはダンプカーという和製英語で馴染みのある言葉です。dumpには付き合っている彼または彼女をドサッと捨てる、つまり実際の相手を「ふる」という意味があり、アメリカ人の若者が好んで使う表現であることを説明すると、学生達の興味を引きながらdumpという単語を覚えてもらえます。

お金は学生に限らず誰にとっても身近な話題です。日々の生活に直結する事柄ですが、学生達にはほとんど馴染みがない表現が多いのです。

(例)キャッシュ・カードを使う時には暗証番号が必要ですね、では **暗証番号** を英語で言うと次のどれでしょう？

- ① SIN number ② MIN number ③ PIN number

③が正解ですが、本書ではその解説としてPIN numberはPersonal Identification Number「個人識別番号」の略であることをまず説明しています。私はPIN numberを説明する際には、学生証や身分証明書の番号も意味すること、またアメリカの大学ではPIN numberを電話で入力すると、教務課へ行かなくても、自分の成績が聞けるシステムがあることなどを付け加えて説明し

ています。

残念ですが、高校までの6年間英語を学んできた学生たちに、日常生活についての基本的なボキャブラリーがほとんどないことは、学校教育に携わっている方には周知の事実であると思います。本書では、受験のための英単語しか知らない学生たちに、英語圏での実生活に直結した基本的なボキャブラリーを紹介しています。

(例)英語でも「携帯電話」のことを「携帯」のように省略して言うのが一般的ですが、さてどのように言うのでしょうか？

- ① carry ② cell ③ pod

答えは②ですが、本書の解説には「cellはcellular phoneの略、cell phoneと呼ぶ場合もあります。他にmobile (mobile phone), hand phone, cellyなどの呼び名もあります」と説明しています。学生達は英語でも「携帯」のように省略して呼ぶことに驚きを感じることでしょう。

(例)「目やにがついているよ」

You have ( ) in your eyes.

- ① cheese ② gum ③ butter

答えは②です。gumは「弾力性があってべとべとするもの一般」を表す言葉で、学生たちはchewing gum「チューイングガム」からその意味がピンと来ると思います。またeye mucus(ミューカス)という言い方もあることを解説時に付け加えるとよいと思います。

### ■一般常識としてのボキャブラリー

本書はまた、学生が一般常識として知っておくべき環境問題などの自然・社会現象や、インターネット用語、基本的な理科・科学に関する表現なども扱っています。

(例)「ちょっと難しいですが、**京都議定書**を英語で言うと次のどれでしょう？」

- ① the Kyoto Memorandum (メモランダム)  
② the Kyoto Protocol (プロトコール)  
③ the Kyoto Agreement

正答は②です。protocolは条約や協定の「合意・規約・議定書」を意味します。学生にはmemorandumとagreementの意味を同時に説明するとボキャブラリーが増えます。

(例)太陽に近い順から太陽系にある8つの星を並べてみましょう。

The Sun → Mercury → (①) → Earth → (②) → (③) → (④) → Uranus → (⑤)

- ① Neptune ② Saturn ③ Venus ④ Jupiter  
⑤ Mars

正答は①=③ Venus, ②=⑤ Mars ③=④ Jupiter ④=② Saturn ⑤=① Neptune

この問題は学生の理科の知識と英語の知識を同時に試す問題です。理工系の学生には特に受けがよいようです。ひとつおりの答えを説明した後に、「太陽系」「宵の／明けの明星」「北極星」「流れ星」など天体や宇宙に関する名称を英語でなんと言うか、さらにクイズ形式で出題してみると学生の興味は一層深まると思います。

本書は最近のアメリカで実際に使われている自然な口語表現を基本として書かれています。辞書には載っていても、実際ネイティブがほとんど使用しないような英語表現はできるだけ避けています。ですから、先生方が口語的な表現を学生に紹介したい時には参考文献としてお使いになることも可能ですし、先生方自身の予備知識としてもご使用になれると思います。授業の間の息抜きとして、学生の興味を引く道具として、また単語や語法・文法の説明の際に、付け加えるべきインフォメーションとしてご使用になることをお奨めします。

(おさない だい・東京電機大学准教授)